

青少年・治安対策本部

第1 審査の概要

1 審査の対象

(1) 一般会計

(2) 財 産

2 実地審査場所

青少年・治安対策本部

3 審査の方法

知事から提出された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、青少年・治安対策本部執行分を審査した。

審査に当たっては、

(1) 決算計数は、正確であるか

(2) 予算の執行は、適正かつ効率的になされているか

(3) 財産の取得、管理及び処分は、適正に処理されているか

などに主眼を置き、決算書等及び証拠書類の照合等を行うとともに、関係部局から決算についての説明を聴取するなどの方法により審査を実施した。

第2 審査の結果

1 決算計数について

審査に付された一般会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書の計数は、誤りのないものと認められる。

2 事業執行等について

特に意見を付する事項はない。

第3 決算の概要

1 歳入歳出決算の状況

(1) 一般会計

ア 歳入

(単位:千円、%)

科目(款)	予算現額	収入済額	比較増()減額	収入率
使用料及手数料	1	0	1	0
国庫支出金	199,575	1,575	198,000	0.8
諸収入	0	115	115	-
計	199,576	1,690	197,885	0.8

歳入は、第7款使用料及手数料ほか2款であり、予算現額1億9,957万余円、収入済額169万余円、比較減額1億9,788万余円である。

歳入の主な内容は、

- ・国庫支出金のうち、人権啓発活動地方委託の総務費委託金 157万余円である。

イ 歳出

(単位:千円、%)

科目(款)	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	3,704,000	2,506,197	18,666	1,179,136	67.7

歳出は、第2款総務費の1項1目で執行しており、予算現額37億400万円、支出済額25億619万余円、翌年度繰越額1,866万余円、不用額11億7,913万余円、執行率67.7%である。

執行内容は、

- ・治安対策及び青少年育成総合対策事務、職員費等に要したもの

(項) 青少年治安対策費 (目) 管理費 25億619万余円

である。

翌年度繰越額は、事故繰越1,866万余円で、主な内容は、つつみ橋立体化事業工事に係る1,522万余円である。